



【発信日】 令和4年6月9日  
【問合わせ先】 下庄小学校  
担当者名 下口 真砂代  
電話 0779-66-2350

### 「大野観光大使」の活動 オンラインでの交流活動

本校の今年度の第6学年修学旅行は、4月はじめに感染状況等を鑑み、行き先が関西方面から鯖江市、美浜町、若狭町、小浜市に急きょ変更となりました。また、直前まで実施の有無が心配される状況でした。そのようななかでも、第6学年は第5学年時の総合的な学習の時間の発展として修学旅行をとらえ、「大野観光大使」としての宣伝活動やSDGsについての学びの実践に取り組むことができました。

修学旅行での見学や体験、施設やお土産屋の観察等を通して、福井県に関心をもち、ふるさとの良さや工夫に気づいたことは、「大野観光大使」の事後活動の展開に大きくかかわってくると思われます。早速6/15には、大野を今月末に訪れる福井市中藤小学校5年生とオンラインでつながって、「大野観光大使」となってよさをアピールします。

つきましては、交流授業を実施するにあたり、当日の取材方よろしくお願ひします。

#### 記

- 1 日 時 令和4年6月15日（水） 10:40～11:15
- 2 場 所 下庄小学校 1階ホール
- 3 内 容 第6学年児童によるオンラインでの交流活動
- 4 そ の 他

#### ●修学旅行（令和4年6月1日（水）～2日（木））での「大野観光大使」としての宣伝活動

地元大野のよさをアピールするために「大野の人・もの・こと」を紹介する観光リーフレットを作成して持っていき、旅先の地元の人や観光客に一声添えながら配ったり、各施設に置いてもらうようたのんだりしました。若狭フィッシャーマンズ・ワーフ、若狭美浜温泉「湾彩」、千鳥苑、三方五湖レインボーラインにおいて、児童らは照れくさそうに声をかけていましたが、会話が始めると生き生きと話していました。人との触れ合いの中で、相手や場所、状況に合わせてどう話すとよいかも学ぶことが出来ました。

#### ●修学旅行でのSDGsについての学びの実践（海ごみ拾い活動）

SDGsについては問題意識をもって各地をまわり、宿舎に隣接する久々子海岸では、昨年の6年生が【ふるさとの環境を守る】の探求で行ったビーチクリーンを参考に、海ごみ拾い活動にチャレンジしました。海岸に出た瞬間、各々が自発的に活動を始め、汚れも気にせず拾い続けていました。拾い集めたごみの種類を確認することで、地元住民や観光客のポイ捨てごみではなく、流れてくる海洋ごみであることを知り、新たな課題も発見したようです。宿舎の方のご厚意で、集まった大量のごみを処理していただきましたが、修学旅行での清掃活動に大変感心されました。今後、自分たちができることにつなげる等、学びを発展させます。